

平成29年度なんたん子育てミニフォーラム (地域サポーター育成事業)



11月28日(火)、京都府口丹波勤労者福祉会館において、ミニフォーラムを開催しました。南丹管内の幼稚園から高等学校までのPTAや教員の学校関係者や社会教育関係者、民生児童委員など、様々な立場から南丹地域の子育てに関わっていただいている方々約130名の参加がありました。

本フォーラムでは、地域で子どもを包み込み育む環境づくりを進めるため、地域学校協働活動について理解を深め、子育て支援ネットワークを広げるという趣旨から、京丹波町地域学校協働本部丹波ひかり小学校部会委員の皆様にご講演及びグループ協議の運営に協力いただきました。



講演

「京丹波町地域学校協働本部丹波ひかり小学校部会『みのり会』の取組」 地域学校協働本部地域コーディネーター 湊 友三郎さん



京丹波町は、この4月に「地域学校協働本部」を立ち上げ、各小中学校に地域コーディネーターを配置しました。それぞれの学校において、コーディネーターを中心に推進委員の方々が学校と連携し、様々な取組が進められています。

湊さんには、丹波ひかり小学校部会「みのり会」の取組について御講演いただきました。

充実した組織編成のもと、年度当初に綿密に計画を立て、多くのボランティアさんの協力を得ながら、子どもたちの教育活動の充実のために取り組んでおられることについて、多くのスライド写真を示しながら説明していただきました。「学校、地域、家庭が一緒に汗を流し、地域の未来を担う子どもを育てるという思いを持って取り組んでいる」と熱く語られ、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)がスタートしてから、それを基盤としながら今日まで充実した取組が10年以上続いてきた理由として、「子どもが好き、子どもの笑顔に元気をもらう」「社会貢献や生きがいになる、子どもたちと関わることで幸福感を味わえる」「地域振興、地域の活性化につながる」などを挙げられました。



参加者の感想

とても素晴らしい取組だと思いました。地域・学校・保護者と連携して、子どもを豊かに育てることができ、また、地域への愛情や信頼を育てることで、安心感のある人間関係が築けると思いました。

地域学校協働本部の取組について、お話を聞いて、丹波ひかり小学校の児童の皆さん、地域の皆さんの活動中の笑顔がとても良いと感じました。子ども達の楽しそうな顔から学力向上につながる取組をされていると実感しました。このように、地域の専門的な技術をもった方々が子ども達の学習に直接関わり、教えてくださる体制は素晴らしいと思いました。ここまでのサポートをし、長く続けているのは、皆様の努力のたまものだと思いました。

素晴らしい実践を10年も続けておられることに敬意を表します。学校だけでなく、協働本部の方々が互いに連携し合う中で様々な取組をし、お互いにウィンウィンの関係が作り上げられている点が素晴らしいと思いました。

正直、自分たちの学校でこのような取組ができるかといえば無理だなと思ったところですが、少しでも、自分にできることを積極的にできればいいかなと思いました。コミュニティスクールの取組を考えている地域ですが、PTA会員の参加が少なく、コミュニティスクール等のよさを広く実感してもらい、知ってもらいということが必要なのではないかと思います。

グループ協議 「講演を受けて、自分にできることを考えよう」

グループ協議では、テーマを「講演を受け、自分にできることを考えよう」とし、短時間ではありましたが、参加いただいた様々な立場の方々がそれぞれの立場から意見を出し合い、熱心な協議がなされました。



「学校あつての地域、地域あつての学校」お互いが協働して、成長し合っていけるよう、具体的に何かに関わっていきたいと思いました。

地域の核になる人材を集めることも大切で、みのり会や他地域の少人数の所では、地域がすごく参加なさっていることに、私たちももっと関わるべき所を考えさせられるグループ協議でした。我が子だけでなく、いろいろな子達や人、地域と関わろうと思います。



自分の子どもの学校にはない、地域ボランティアの方々の取組は参考になり、もっとうちの学校もボランティアを募集して、みんなで子育てしていける取組ができたらと思った。また、子ども達も地域を大事にすると思う。

大好きな地域が元気になれるよう、何かの形で恩返しできれば嬉しいです。

大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございました